

# 水曜通信 14

2018年  
7月

東北学院大学研究ブランディング事業通信  
「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

## 第14回水曜礼拝（公開大学礼拝） 2018年7月18日（水）18:30-19:00

—— 英語礼拝 ——



説教：キャロル・リッチ（ランカスター神学校校長）  
奏楽：小野 なおみ（本学礼拝オルガニスト）

<礼拝次第>

前 奏：J.S.バッハ

「高きにあります神にのみ栄光あれ BWV662」

讃美歌：75番 “All Creatures of Our God and King”

聖 書：Luke 8：4-15 「種を蒔く人」のたとえ

讃美歌：429番 “The Church’s One Foundation”

説 教：130 Years Later - A Message from Lancaster

祈 禱

頌 栄：543番 “O for a Thousand Tongues to Sing”

後 奏：M.レーガー「強き王なる主をほめまつれ」

後奏の後、30分間、東北学院宗教部聖歌隊、グリークラブ、キャロラズ合同の合唱による讃美を行ないます。詳細は次ページに。

8月の水曜礼拝はお休みです。

次回第15回水曜礼拝は**9月19日**です。

## 第14回水曜礼拝の後の合唱曲目（ランカスターとの交流のために）

合唱：宗教部聖歌隊、グリークラブ、キャロラズ合同合唱団  
指揮：菊池晏生（文学部3年） オルガン：藤江惟志（経済学部3年）

- 1：讃美歌6番「われら主をたたえまし」
- 2：英語讃美歌465番“Here, O Lord, Your Servants Gather”
- 3：東北学院校歌“Fair Gakuin”
- 4：英語讃美歌440番“In Christ There Is No East or West”
- 5：讃美歌419番「主イエスにありては、よのくにたみ」

## 第13回水曜礼拝報告（奨励：鐸木 道剛、奏楽：小野 なおみ）

2018年6月20日(水) 18：30 - 19：00

讃美歌：4番「よろずのくにびと」  
聖書：詩編135編15～18節  
讃美歌：429番「あいのみかみよ」  
奨励：「魔術からの解放」  
頌栄：540番「みめぐみあふるる」



### 【奨励要旨】

詩編135編の偶像崇拝の禁止の箇所です。詩編の115編にも同じ言い回しがあります。エレミヤ書の第10章にもあります。この偶像崇拝の否定は十戒の第2戒でもあり、旧約聖書の一神教の命令です。「もの」を生きていると考えるのは人間の自然の感受性であると、ドイツの啓蒙主義の哲学者ヘルダーも書いています。しかし「もの」はどんなに人の形をしようが、「もの」は「もの」、死物であるとの神の上からの命令が旧約聖書です。素朴な子供の感受性を否定する残酷な思想なのです。しかしそれによって我々は自由になります。内村鑑三のいう通りです。それを踏まえて、空しい「もの」の過ぎ行く現実を神に繋げるのが受肉です。それが新約聖書の福音です。シューベルトの「魔王」で歌われるような、森を通る風の音も怖い子供時代の恐怖からの解放なのです。（鐸木道剛）



前奏：D. ウッド「夜の歌（Song in the Night）」  
後奏：「日暮れて四方は暗く」

D.ウッド（1934-2003）はアメリカの作曲家・オルガニストであり、教会音楽作品を数多く残しています。後奏もまたアメリカの作曲家・教会音楽家のB.キュリによって、夕べに歌われる讃美歌39番「日暮れて四方は暗く」がアレンジされた作品でした。（小野なおみ）



※礼拝とその後の19時00分から20分までの聖歌隊の合唱による讃美に32名の市民が参加されました。指揮は菊池晏生（文学部3年）と中川郁太郎（本学特任准教授）

## 礼拝後、宗教部聖歌隊の合唱による讃美



今年度も、このラーハウザー記念礼拝堂にて、聖歌隊で讃美の歌を歌うことができることを感謝いたします。私たち聖歌隊は、昨年度本年度と多くの団員が加わり、土曜での日常的な活動も視野に入れることができるようになりました。聖歌隊の今後の活躍に、どうぞご期待ください。

最初に歌った曲は「天において主をたたえよ」です。アイオナ共同体の生活から生まれた新しい讃美歌の一つです。

2曲目は讃美歌第二編197番に収録されている「あおき牧場と清きみぎわ」です。これからの季節に即した、明るい曲調の讃美歌です。ここまでの2曲は、聖歌隊3年の菊池晏生君が指揮をし、後半2曲は、中川先生指揮のもと、ブラームスの「マリアの歌」を歌いました。繊細ながらも、ブラームスらしい雄大なメロディと、聖書に即した美しい歌詞が絶妙に組み合わせられた作品です。この曲は、10月28日の宗教音楽の夕べにて歌う曲ですので、ご興味がおありの方は是非お越しください。最後に、讃美歌48番「しずけき夕べ」を会場の皆さんと共に讃美しました。

(服部セラフ 法学部3年)

なお演奏の際の解説で7月2日を「マリア受胎告知の祝日」とご紹介してしまいましたが、正しくは「マリアのエリサベト訪問の祝日」でした。お詫びして訂正します。

(中川郁太郎 宗教音楽研究所)

## The Report of the Serial Lectures upon the World Heritages in Poland ポーランドの世界遺産連続研究会報告



ポーランドからいらしたヴァルデマール・アッフェルト客員教授が、5月26日の公開講演会に続いて、ポーランドの世界遺産を紹介する連続研究会を開催しています。毎週土曜日の午後1時から3時まで。場所はホーイ記念館1階のコラトリエ・リエゾン。7月14日が最終回です。分かり易い英語ですし、日本語での質問も大歓迎です。(鐸木道剛)

5月26日から英語でおこなっている連続研究会では、毎回ふたつの歴史的記念碑を、ヨーロッパ文化の様式的展開に沿って取り上げています。ロマネスクからゴシック、ルネサンス、マニエリスム、バロックそして近代をポーランドのそれぞれの歴史的背景を踏まえての紹介です。関連する無形文化財についても話しています。7月14日は最後の研究会で、先史時代と産業革命時代の産業技術文化遺産についてです。参加者の関心や質問にも応じてご紹介していきます。過去の遺産を未来の世代のために遺すためのポーランドの政策と実際の活動についてもお話しします。土曜日の午後1時にホーイ記念館のコラトリエ・リエゾンでお会いしましょう。

(ヴァルデマール・アッフェルト)

## 第一回ワークショップ報告

6月9日(土)、本学が2016年から開始している研究ブランディング事業の一環として行う、東北学院大学生のための「東北における宗教的観光資源の可能性」のキックオフ・ワークショップが開催されました。本事業では、若手人材の育成を重要目的のひとつに掲げています。事業を通して、社会の課題やニーズに対応し、東北の未来を築く人材を教育することを目指しています。(吉田新)



## 研究ブランディング事業のラジオ番組放送

研究ブランディング事業では、2018年1月から3月まで本学の研究者出演のラジオ番組「学院大ジンプンRadio」をエフエムたいはく(FM78.9)で放送しました。総合人文学科の阿久戸義愛先生出演のもと、初回のシリーズのテーマを哲学に設定しましたが、哲学者の名前や専門用語であふれ返るような内容ではなく、どんな人にもかかわる日常の話題と結びつけて、「社会で生きる：理想と現実」、「自分で選ぶ」、「愛を考える」といったタイトルで語っていただきました。放送内容は、研究ブランディング事業のHPで聴くことができます。この番組を通じて、哲学が私たちの身近にある学問であると感じてもらえればと思います。(柗淵文夫)



## 研究ブランディング事業公開講演会のお知らせ

今日のキリスト教信仰：アメリカ合衆国の「宗教市場」のなかで  
Christian Faith Today in the "Religious Market Office" of the United States



講師：キャロル・リッチ師(ランカスター神学校校長)  
桜美林大学のジェフリー・メンセンディーク師の通訳がきます。

日時：7月19日(木) 13:00-14:30

会場：土樋キャンパス ホーイ記念館ホール



ホーイ師とシュネーダー師がランカスター神学校を卒業して仙台でふたつのキリスト教主義の学校を設立したあとのランカスター神学校の歴史、現在のアメリカ合衆国でキリスト教信仰と牧師職がどう教えられているのか。今日、アメリカ人がどう宗教生活を実践しているのかについてお話しします。(キャロル・リッチ)

※講演に先立ちランカスター神学校と東北学院大学との国際交流協定締結式を執り行います。

文部科学省私立大学研究ブランディング事業とは：

学長のリーダーシップの下、大学の特徴ある研究を基盤として、全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを行う私立大学に対し、施設費・装置費・設備費と経常費を一体的に支援するもので、各大学の特色化・機能強化の促進を目的としています。東北学院大学は、「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」との事業名で平成28年11月22日に採択されました。

東北学院大学研究ブランディング事業通信  
第14号

2018年7月10日発行

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

TEL：022-264-6547

E-mail：branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

URL：http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/theology/